



株主・投資家の皆様へ

株主通信

2020年3月期上半期のご報告

2019年4月1日～2019年9月30日

パーソルホールディングス
(証券コード：2181)

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部)
定時株主総会	6月下旬	電子公告 公告掲載URL	https://www.persol-group.co.jp (ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。)
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日	公告方法	
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(通話料無料) URL https://www.tr.mufig.jp/daikou/		

株式に関するお手続きについて

■お手続き、ご照会などの内容

- 郵送物などの発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般のお問合せ
- 特別口座に記録された株式に関するご照会

■お問合せ先

株主名簿
管理人
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711(通話料無料)

○住所・氏名変更などの上記以外のお手続き、ご照会
口座を開設されている証券会社などにお問合せください。

はたらいて、笑おう。



PERSOL

東京都港区南青山1-15-5 パーソル南青山ビル TEL 03-3375-2220(代表)

※本報告書に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があり、その確実性を保証するものではありません。

表紙に登場している人物はすべてパーソルグループの社員です(2019年9月時点)



この印刷物は「FSC® 認証紙」と「植物油インキ」を使用しています。



はたらいて、笑おう。

PROFILE
代表取締役社長 CEO
水田 正道

1988年テンプスタッフ(現パーソルテンプスタッフ)入社。
1995年取締役営業本部長、2006年常務取締役東日本営業本部長、
2010年取締役副社長、2012年代表取締役副社長に就任。一貫して営業部門を担当。
2013年代表取締役社長に就任。日本人材派遣協会会長、人材サービス産業協議会理事長を歴任。
座右の銘は積小為大。

当上半期の概況

人材サービス市場は引き続き構造的な労働力不足を背景に需要は堅調に推移しています。このような市場動向のもと、当社グループの上半期の売上高は4,789億円、営業利益は201億円となりしました。

今後、国内では働き方改革や労働環境の変化により企業の人手不足感はますます広がり、外部人材の採用や定着はもろろん、業務のアウトソースの面で労働力のニーズが高まると予想されます。さらなる市場の拡大に向け、主力事業の人材派遣や人材紹介事業を中心にグループの総力を挙げ

て企業価値向上に努めます。

なお、豪州で人材派遣およびメンテナンス事業を展開するPROGRAMMEDセグメントにおいては、顧客開拓の強化に努めてまいりましたが、豪州景気の低迷等の影響を受け、当初計画通りの収益確保には至らず、当上半期において減損損失を計上しました。経営陣一同重く受け止め、同事業の早期立て直しに全力で努めてまいります。

なお配当につきましては株主様のご支援に報いるため、期初の発表通り中間配当は1株当たり15円とさせていただきます。

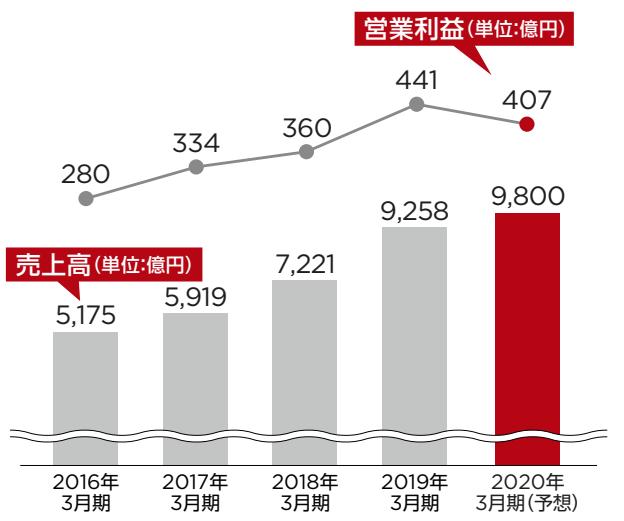
「an」を礎に、新たな価値創造へ挑む。

この度、50年以上運営してきたアルバイト求人情報サービス「an」事業は、2019年11月をもって終了いたしました。長きに亘りご愛顧賜りましたことを深く御礼申し上げます。「an」は、個人的にも思い入れの深い事業であり、当グループの礎の一つでした。今後、「an」のスタッフは、急拡大を続けている中途採用・転職支援領域であ

業績ハイライト 《2020年3月期 上半期 連結累計業績》

上半期では売上高は
過去最高実績を更新

売上高 4,789億円 前年同期比 5.9%増	営業利益 201億円 前年同期比 1.6%減
当上半期 純利益 -51億円	1株当たり 中間配当金 15円



「はたらいて、笑おう。」を
新たなグループビジョンに策定。
多様性を可能につなげる企業へ。

現在、労働市場では「組織」の時代から「個」の時代へのシフトが起こっており、人材サービス業界が担うべき役割や存在意義が改めて問われていると感じています。

そうした時代の中でお客様一人ひとりに選ばれ、企業にも必要とされる存在であり続けたいという思いから、2019年10月よりグループビジョンを一新しました。

「はたらいて、笑おう。」のごまでもシンプルでポジティブなメッセージのもと、性別・年齢・国籍・あらゆる制約を越えてすべての「はたらく」が笑顔につながる社会の実現に向け、まずは、私たち一人ひとりが「はたらいて、笑おう。」を実践し、幸せにつながるイノベーションに取り組んでまいります。株主の皆様には、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

仕事紹介のスピード&精度アップ! 「久留米ジョブコーディネートセンター」を新設

働き方改革の推進等により、業務の見直しや外部リソースの活用が活発になっていることから、人材派遣サービスやアウトソーシングサービスの需要が高まってきています。人材派遣サービスでは即日の就業開始を求められる求人も多く、顧客のニーズに対応するためには、より早く、より精度の高いマッチングが不可欠です。

パーソルグループでは、2019年4月に福岡県・久留米市に「久留米ジョブコーディネートセンター」を新設し、西日本エリア※を中心とした人材派遣の依頼に対して、派遣スタッフと求人情報のマッチングを集約して行っています。今後も全国へのジョブコーディネートセンターの展開によって、就業機会の拡大と、サービスの品質や顧客満足度の向上につながってまいります。

※関東エリアを中心とした人材派遣のマッチングは、2016年より「札幌ジョブコーディネートセンター」に一部を集約することで、仕事紹介数を年間延べ3万件まで増やすことができています。



窓が多く明るいセンター内は全体が見渡せ、スムーズなコミュニケーションが可能。また、現在増員も計画中です。



開所式にて、右から、久留米市長・大久保勉様とパーソルテンプスタッフ株式会社代表取締役社長・和田孝雄

「キャリアに戦略を。」をキーワードに、ハイクラス人材の キャリア戦略プラットフォーム「iX(アイエックス)」をリリース

労働市場の構造変化、テクノロジーの進化、グローバル化の加速など、日本の「はたらく」は大きな転換期を迎え、「終身雇用モデル」から一人ひとりがキャリアやはたらき方について主体的に考え、自ら選ぶ時代に突入しています。

パーソルグループでは、キャリアを戦略的に築くことを目指す人のパートナーとして、さまざまな「情報」と「選択肢」を提供するサービス「iX」をリリースしました。

「iX」では、ハイクラス人材やハイクラスを目指す方が高い価値を発揮して通用し続けるための転職サービスをはじめとする、以下の4つのサービスを提供してまいります。

<p>ハイクラス転職サービス</p> <p>ヘッドハンターが非公開求人紹介</p>	希少性の高い非公開求人を紹介
<p>コンサルティングサービス</p> <p>キャリアプランニングの支援</p>	市場価値向上のためのキャリアプランニングを支援
<p>プロフェッショナル向けサービス</p> <p>個人事業主や経営者と法人のマッチング</p>	個人事業主や経営者と、法人のマッチングプラットフォームを提供予定
<p>メディア&コミュニティ</p> <p>キャリアを考える情報と場の提供</p>	市場価値向上につながる、気づきや発見があるコンテンツを発信

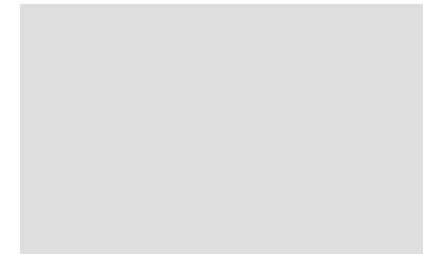


<https://ix-portal.jp/>

中島裕翔さんとオリジナルキャラクター“テンプリん。” を起用した新CMを7月より公開!

パーソルテンプスタッフは、中島裕翔さんとオリジナルキャラクター“テンプリん。”を起用した新TV-CMを7月より公開しています。派遣先企業での就業風景を舞台にしたストーリーで、テンプスタッフからやってきた派遣社員の“テンプリん。”が、仕事仲間の一員としてまわりの方々から頼りにされ、楽しく仕事をしている姿を描いています。

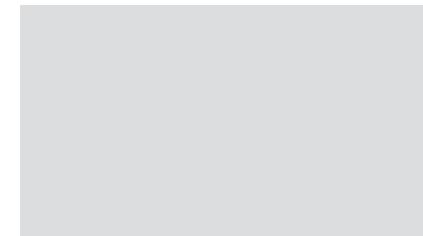
CMストーリーを通して、派遣というはたらき方はライフスタイルや希望に合わせて、自分らしくイキイキとはたらくための一つの選択肢であることを多くの方に知っていただき、仕事探しの際にテンプスタッフを想起してもらいたいという想いと、派遣ではたらいっている多くの方にエールを届けたいという想いを込めています。



中島さんの言葉にうれしくなって思わず“テンプリん。”の頭から、さくらんぼがポポポポーっと出てしまうキュートなシーンは必見です!



本CMIは、こちらのQRコードからご覧いただけます



「ニッポンの人事部長 PERSOL」新バージョンのCMが 10月よりスタート!

今回の広告キャンペーンでは、前作に続き「PERSOL(パーソル)」のグループビジョンである「はたらいて、笑おう。」に込められた想いを体現し、国民的理想の上司のイメージがある内村光良さんがメッセンジャーとして出演します。国内最大級の総合人材サービス企業として、この国の「はたらく」のぜんぶを支えられる存在となり、「はたらいて、笑おう。」を実現する社会を築きあげていこうという、パーソルの想いや宣言が込められています。



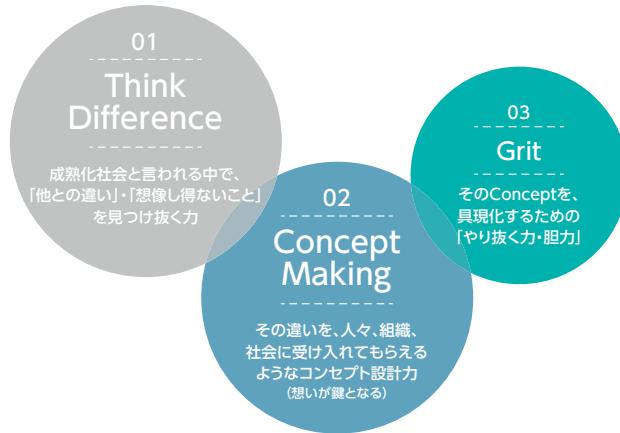
新TV-CM「戦略発表篇」は、イベントホールに集まった社員や記者に対して、内村さんが熱くプレゼンテーションをするシーンから始まります。前作の2倍超となる250名以上のキャストとの息の合った「ニッポンの人事部長」ポーズに注目です!



本CMIは、こちらのQRコードからご覧いただけます

アイデアで「はたらく」をアップデート! イノベーション体質強化プログラム「Drit(ドリット)」スタート

パーソルが考えるイノベーション体質の3要素



Drit

	0to1 社内向け	Drit 外部解放
参加者属性	当社社員のみ	外部社員も可能
エントリーテーマ	フリーエントリー	左記に加えて テーマ設定型も追加
審査員	当社役員陣のみ	左記に加え 外部有識者を招聘

パーソルグループでは、これまでグループ内公募による新規事業創出プログラム「0to1(ゼロトゥワン)」を運用し、「ミイダス」や「eiicon(エイコン)」など多くの新サービスを誕生させてまいりました。2019年10月からは、このプログラムを社外にも解放してバージョンアップ。外部からのエントリーも可能な新規事業創出プログラムとして再設計し、イノベーション体質強化プログラム「Drit」へと進化させることで、新規事業への取り組みを加速していきます。

価値観の多様化が進む中、日本の「はたらく」は、あらゆるアイデアと着想からアップデートが必要な転換点を迎えています。「Drit」は、これまで社内研修制度「0to1」で培ってきたノウハウを最大限活用して、社内外から参加する個人がプログラムを通して成長し、今後のキャリアの役に立つイノベーション体質を身に付けることができる内容を提供していきます。例えば、起案の過程では、新規事業に関して豊富な経験や知見を持つメンターのサポートを受けることができ、スキルとマインドの両面で事業化フェーズまでのプロセスを手厚く支援します。約5か月間の第1期プログラムはすでにスタートしています。次世代を担う新規事業が多く誕生し、日本に多くのイノベーターを輩出するプログラムになるよう、運営してまいります。



新規事業創出プログラム「Drit」発表記者会見にて、取締役副社長COO 高橋 広敏

外国人材の育成と紹介を一気通貫で行う「PERSOL Global Workforce株式会社」を設立 2019年11月よりフィリピンにて現地人材の募集・育成を開始

日本の労働市場では、2030年に約644万人^(※1)もの人手が不足すると予測されており、今後の日本経済の発展のためには、女性やシニアの活躍、そして外国人材の活躍が不可欠となってきています。

国内の外国人材は2018年10月現在、約146万人^(※2)と過去最高を更新する一方、外国人材の採用・定着における企業と外国人材のミスマッチや、技能実習生の失踪者数が2018年には9,052名^(※3)までのぼるなど、社会課題も多く見受けられます。パーソルグループでは、これまで外国人材に関するさまざまなサービスを提供してまいりましたが、昨今の外国人材に関する社会課題を解決し、はたらく個人・企業双方に「はたらいて、笑おう。」を実感していただける価値提供をすべく、この度、PERSOL Global Workforce(以下、PGW)を設立いたしました。PGWでは、パーソルグループの海外および国内のネットワークを活用し、海外現地での人材確保・育成から日本企業へ就業支援・受け入れまでのサービスを一气通貫で提供いたします。また、外国人材が母国

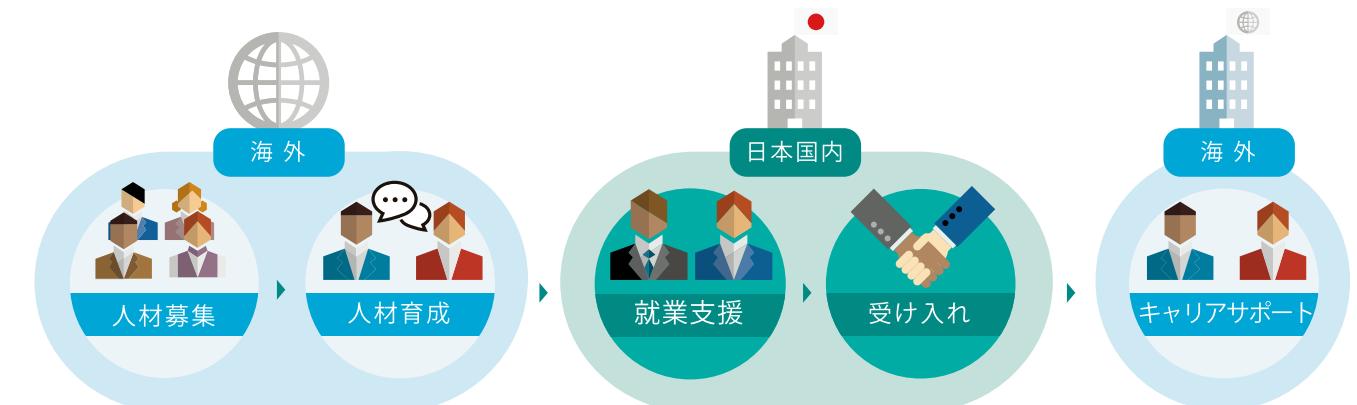
に帰国する際には、これまでの日本での職務経験や日本語能力を活かしたキャリア開発をサポートしていく予定です。

PGWは、外国人材・日本の企業双方に質の高いクリーンな仕組みを構築することで、はたらく個人と企業の経営戦略に貢献できる事業を目指します。

※1 パーソル総合研究所 労働市場の未来推計 2030 ※2 厚生労働省 外国人労働者雇用状況
※3 法務省 技能実習制度の運用に関するプロジェクトチーム 調査・検討結果報告書



パーソルグループは多様な価値観を持った個性に向き合い、世界中の誰もが「はたらいて、笑おう。」を実感できる未来に向けて、今後も事業展開を進めてまいります。



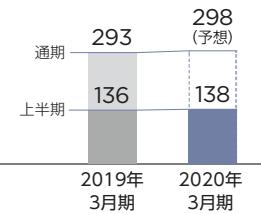
エンジニアリング

セグメント

貿易摩擦の影響を受け、主要顧客からの受注が減少した結果、売上高は138億円、営業利益は6億円となりました。

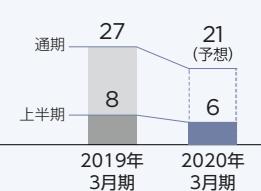
売上高 **1.2%増**

(単位:億円)



営業利益 **23.8%減**

(単位:億円)



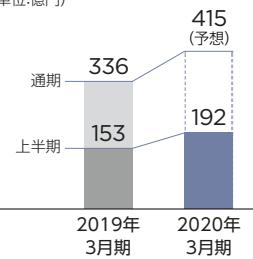
ITO

セグメント

旺盛なクライアント企業の需要に対して、技術者の採用を進めた結果、売上高は192億円と増加しました。営業利益は、従来より取り組んでいる技術者の退職抑制ならびに新規採用に向けた待遇改善等のコストが増加したため、1億円と減益となりました。

売上高 **25.4%増**

(単位:億円)



営業利益 **73.3%減**

(単位:億円)



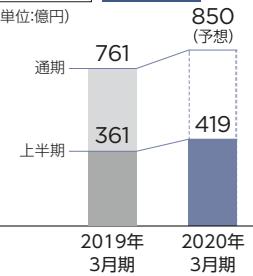
PERSOLKELLY

セグメント

中国経済の減速の影響を受けながらも、豪州以外の地域において派遣事業を中心とした人材サービスが伸長した結果、売上高は419億円と増加しました。営業損益は、主に豪州地域でのシステムトラブルによる売上高の減少により1億円の損失となりました。

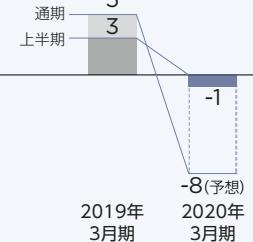
売上高 **16.2%増**

(単位:億円)



営業利益

(単位:億円)



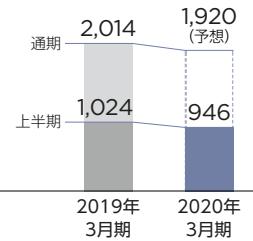
PROGRAMMED

セグメント

メンテナンス事業は、引き続き長期の大型施設メンテナンス案件の寄与があり、増収となりましたが、豪州経済の減速の影響を受け、人材派遣事業は減収となり、豪ドル安の影響もあり、全体の売上高は946億円と減少しました。営業損益は、主に人材派遣事業の減収による採算性悪化に伴い、1億円の損失となりました。

売上高 **7.7%減**

(単位:億円)



営業利益

(単位:億円)



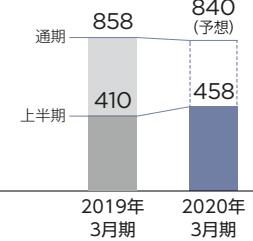
リクルーティング

セグメント

人材紹介事業は前期と比較し成長率が鈍化したものの、アルバイト求人情報サービス「an」事業のサービス終了前のキャンペーンが奏功し売上高は458億円となりました。利益面では、人材紹介事業の安定的な利益に加え、「an」事業の貢献により営業利益は90億円となりました。

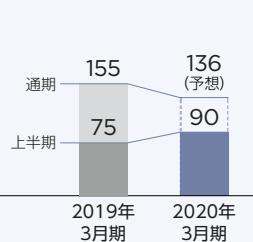
売上高 **11.6%増**

(単位:億円)



営業利益 **20.3%増**

(単位:億円)



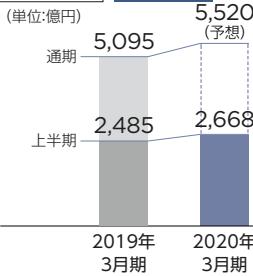
派遣・BPO

セグメント

前年同期に比べ稼働日が3日少なかったものの、主に構造的な人手不足を背景に派遣スタッフの需要が堅調に推移したことや、前期に買収したアヴァンティスタッフが連結寄与したことにより売上高は2,668億円と伸長しました。また営業利益は、派遣スタッフを有期雇用から無期雇用への転換を進めた結果、単価上昇が実現したこと等により120億円となりました。

売上高 **7.4%増**

(単位:億円)



営業利益 **8.1%増**

(単位:億円)



売上高

国内経済の一部で景気の弱含みの兆しが見られる中で、人材サービス関連各社には構造的な人手不足を背景に多くの需要が寄せられ、関連市場は概ね堅調に推移しました。当社グループの主力事業である派遣・BPOセグメントで顧客需要が引き続き好調に推移したことや、リクルーティングセグメントにおける人材紹介事業が緩やかな成長で推移したことに加え、アルバイト求人情報サービス「an」事業のサービス終了前のキャンペーンが奏功した結果、売上高は4,789億円(前年同期比5.9%増)となりました。



営業利益

営業利益は、前年同期に比べ、国内事業の派遣・BPOおよびリクルーティングセグメントはともに増益となりましたが、海外事業は減益となりました。PROGRAMMEDセグメントは、豪州経済の減速および豪ドル安の影響等により、主に人材派遣事業で収益性が悪化しました。加えて、PERSOLKELLYセグメントは、当期第1四半期に表面化した業務システムの新規導入に係るトラブルが当四半期も続いたため、海外事業はともに減益となりました。以上の結果、営業利益は201億円(同1.6%減)となりました。



会社概要

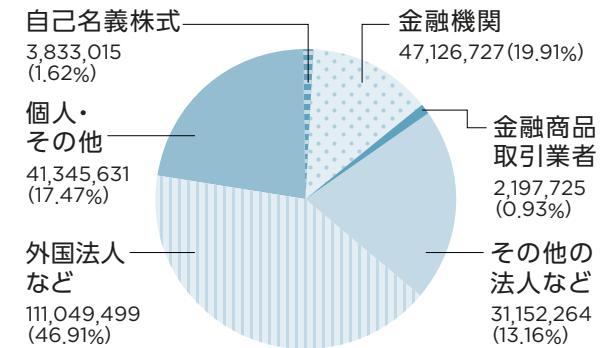
(2019年9月30日現在)

会社名 パーソルホールディングス株式会社
 PERSOL HOLDINGS CO., LTD.
 設立 2008年(平成20年)10月1日
 本社事業所 東京都港区南青山1-15-5
 本店所在地 東京都渋谷区代々木2-1-1
 事業内容 労働者派遣事業・有料職業紹介事業等の事業を行うグループ会社の経営計画・管理並びにそれに付帯する業務
 資本金 17,479百万円

株式所有者別分布状況

(2019年9月30日現在)

(単位:株)



※持株比率(%)は小数点第3位を四捨五入しております。

株式の状況

(2019年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 720,000,000株
- 発行済株式の総数 236,704,861株
- 株主数 9,232名
- 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
篠原 欣子	26,331,600	11.30
一般財団法人 篠原欣子記念財団	15,800,000	6.78
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,900,500	4.68
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	10,468,000	4.49
ケリーサービスジャパン株式会社	9,106,800	3.91
PERSHING-DIV. OF DLJ SECS. CORP.	7,559,700	3.24
JP MORGAN CHASE BANK 385632	6,942,668	2.98
THE CHASE MANHATTAN BANK 385036	5,835,100	2.50
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	3,884,932	1.66
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	3,827,300	1.64

※持株比率は、発行済株式総数から自己株式を除いた株式数(232,871,846株)を基準に算出しております。
 ※持株比率(%)は小数点第3位を切り捨てております。

役員一覧

(2019年10月1日現在)

- 名誉会長 篠原 欣子
 代表取締役社長 CEO 水田 正道
 取締役副社長 COO 高橋 広敏
 取締役専務執行役員 和田 孝雄
 取締役執行役員 関 喜代司
 社外取締役 玉越 良介
 取締役 嶋崎 広司
 取締役 小澤 稔弘
 社外取締役 進藤 直滋
 社外取締役 西口 尚宏
 社外取締役 榎本 知佐
 執行役員 林 大介
 執行役員 美濃 啓貴
 執行役員 峯尾 太郎
 執行役員 山崎 高之
 執行役員 横道 浩一
 執行役員 宮村 幹夫
 執行役員 木村 和成
 執行役員 高倉 敏之
 執行役員 正木 慎二
 執行役員 瀬野尾 裕

※Peter W. Quigley氏は2019年9月30日付で、社外取締役を退任いたしました。

貸借対照表

(単位:億円)

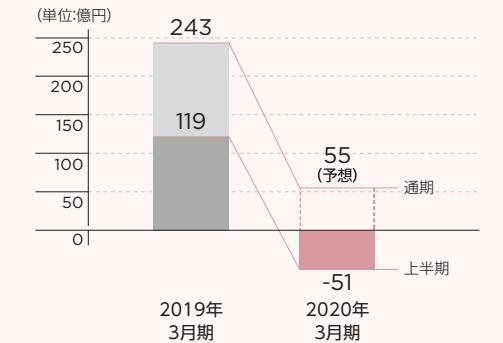
	2019年3月期末	2020年3月期第2四半期末	増減額
資産	3,708	3,445	△262
流動資産	2,098	1,945	△153
現金及び預金	690	579	△110
固定資産	1,609	1,500	△109
商標権・のれん	1,018	856	△161
負債	1,999	1,862	△136
流動負債	1,449	1,381	△67
1年内返済予定の借入金	150	223	72
固定負債	549	481	△68
長期借入金	257	157	△100
純資産	1,709	1,582	△126
自己資本	1,555	1,425	△130
資本金	174	174	0
資本剰余金	203	203	0
利益剰余金	1,256	1,169	△86
非支配株主持分	153	156	3

POINT 1
減損により、のれんが減少

POINT 2
自己株式取得により、自己資本が減少

当上半期純利益

当上半期純損益は、PROGRAMMEDセグメントのスタッフニング事業に係るのれんの減損損失、リクルーティングセグメントの「an」事業終了に係る事業再編損の計上等により、51億円の損失となりました。



1株当たり配当金

当社の配当方針は安定的な配当による株主還元継続であり、かつ、特別損失計上により純利益は減少するものの、ノンキャッシュ費用であることから、2020年3月期中間配当金は、当初予定しておりました1株当たり15円と致します。

	2019年3月期	2020年3月期
中間配当	10.00	15.00
期末配当	15.00	15.00(予定)

インターネットでも詳細なIR情報を公開しています。ぜひご覧ください。
 パーソルホールディングス ホームページ ▶ <https://www.persol-group.co.jp/>